

The U.S. - Japan Youth Forum

格差社会の現実と私たちの出来ること

2013年12月12日(木) 17:30-21:15 日本外国特派員協会 (有楽町電気ビル20F)



日米ユースフォーラムとは:

日米青年の声を世界に発信し、将来のリーダーを育む目的で2005年6月に創設。その後の課題のグローバル化に伴い、今では日米の枠を超えて世界各国から大学生・大学院生のパネリストを招聘し、言語や国境の垣根が無い議論の場として定着しております。

使用言語は英語、高円宮妃殿下には毎回御臨席を頂き学生を励まして頂いております。昨年は『教育と愛国』をテーマに熱い議論が交わされましたが、第九回の今年は日米に加えて中国、シンガポール、バングラディッシュ及び英国の代表が一堂に会し格差問題に光を当てます。



実行委員・パネリスト・登壇者

実行委員長:小林薫子(慶應義塾大学) MC:菅家万里江(渋谷教育学園渋谷教諭) Moderator:森田修弘(慶應義塾大学)
本年度パネリスト: Salim Jakir Hossain (CAD Technical College), 張 宸榕(復旦大学), 木村優吾(早稲田大学),
He Tingshan (シンガポール国立大学), Nicholas Edward Hall (Cambridge U), Madison Mears (U of Wisconsin at Madison)
第二部Entertainment: 天沼朝子(フェリス女子学院大学)

主催:ユースフォーラムジャパン 協賛:日本コカ・コーラ株式会社、セイコーホールディング株式会社、(社)霞会館
後援:外務省(申請中)、米国大使館、日米協会、日米学生会議同窓会 協力:大和日英基金、シンガポール国立大学(日本語研究科)、慶應・復旦ダブルディグリープログラム、青山学院大学国際交流センター(財)国際教育振興会、初等社
入場料 学生1,000円(要学生証提示) 社会人5,000円(卒業後3年以内は3,000円)

[参加申込](http://p.tl/F2-L)はこちら→<http://p.tl/F2-L> (12月5日締切) [お問い合わせ](http://youthforum.jp/contact/)→<http://youthforum.jp/contact/>